

～ピンクリボン通信 No.3～
「クリニカルパス」

乳腺外科部長 中野 聡子

今回は、クリニカルパスのお話です。

クリニカルパスというのは、入院してからのおおよそのスケジュール表のことです。入院する必要がある疾患は、多くは乳がんということになりますが、ご自身の病状、これからの治療、経済的なことなどなど、ご不安な点も多くあることかと思えます。入院した場合どのくらいで動けるようになるのか、いつごろお食事が食べられるようになるのかなど、予め知ることができれば、安心して入院生活を送っていただけたらと思います。外来で入院のご案内をする際に、お渡ししています。ご不明な点がございましたら、スタッフまでお気軽にご相談ください。

患者様バスシート

お名前 _____

・ご不明な点がございましたら、担当医師、看護師にお尋ねください。

乳腺腫瘍手術

入院後の流れ

日数	入院	手術前日	手術当日 (術前)	手術当日 (術後)	1日目	術後2日目～ドレーン抜去まで	退院時
患者様目標 (アウトカム)	手術や麻酔について、心配なことや不明な点を伝えることができる。		手術に必要な準備ができる	痛みや吐き気を訴えることができる	早期離床ができる ドレーンの管理ができる		
点滴・注射			朝から点滴を始めます術後1日目の朝で終了です。				
検査		超音波検査室で手術する乳房に印をつけます。(つけない方もいます)	8:30にセンチネル注射のため、R1検査室に行きます。(必要な方もいます)		採血とレントゲンがあります		
内服薬	継続薬・中止薬の確認をします		医師より指示された薬のみ内服します。		昼から痛み止めが内服開始になります。 持参薬は医師の指示で再開となります。		
処置治療	緩下剤を内服します 眠れない場合は入眠剤をお選びします。		時分に手術室へ移動します。 家族来院時間 ()	血栓予防の靴下を履きます 酸素マスクをつけます 心電図と酸素を測定する機械をつけます	21時に看護師が管の中身を回収します。管の中身が少なくなったら医師が抜去します(管が入らない方もいます。)		
安静度 (活動)				ベッド上安静	安静解除となり、歩行可能です。 リンパ節を多く切除している場合は、手術した側の腕は管が抜けるまで、肩より上にあげないでください。		
清潔		シャワー浴をします			看護師が体を拭きます。 尿の管も拭きます。	下半身のみシャワー可能です。 管が抜けたら入浴可能となります。	
食事			午前7時まで飲みのみ可能です。 手術後は飲食禁止となります。		朝より飲水開始。 昼より五分粥。 夕より全粥が出ます。	朝より普通の食事です	
排泄				尿管が入っています。 排便はベッド上で便器を使用します。	尿管を抜いた後、初回の尿のみコップで測定します。 トイレでの排泄が可能となります。		
説明	・主治医より手術の詳細についての説明があります。(月日時～) ・説明後、同意書にサインをいただきます。 ・麻酔科医より麻酔についての説明があります。 ・看護師より術前後の処置や経過について説明があります。				リンパ節を多く切除を行った患者様にはリハビリのパンフレットをお渡しします	・リンパ節を多く切除をされた方は、管が抜けたら退院前に専門看護師よりリンパマッサージについての説明があります。 ・手術後のリハビリや生活上の注意点について、看護師より適宜説明します。	
その他	・マニキュアやジェルネイル、まつ毛エクステは落としてきてください。 ・手術当日は貸出浴衣を使用します(アメニティの申し込みをお願いします) ・T字帯を一枚ご用意してください。		・義歯、腕時計、アクセサリー類等は全て外してきてください。 ・お化粧はしないでください。 ・眼鏡や補聴器、帽子、ウィッグは必要であれば手術室まで持ってきてください。				